

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330332067	子どもの健康と安全 Child health and safety	黒谷 万美子			1	選択	3後期

科目の概要

DP③に記載している保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材に不可欠な専門的知識・技能を身に付けている保育者の育成を目指します。
 保育における具体的な指導では、保健師として勤めた経験を活かし、子ども理解に関する講義・演習を行います。
 特にこの科目では、子どもの生活の質の向上、子育て家族の福祉に貢献するための知識及び技能を身に付けるために、保健的観点を踏まえた保育環境及び援助、保育における健康及び安全管理について学び、子どもの体調不良に対する適切な対応や感染症対応について保育における保健的対応方法を身に付けます。

学修内容	到達目標
① 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について学ぶ。 ② 保育における健康及び安全管理について学ぶ。 ③ 子どもの体調不良に対する適切な対応について学ぶ。 ④ 保育における感染症対策について学ぶ。 ⑤ 保育における保健的対応について学び、健康及び安全管理の実施体制について学ぶ。	① 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について理解できる。 ② 衛生管理・安全対策・危機管理・災害の備えについて理解できる。 ③ 子どもの体調不良に対する適切な対応や応急処置の方法がわかる。 ④ 保育における感染症の集団発生の予防・対策について理解できる。 ⑤ 保育における保健的対応を知り、職員間の連携・協働、自治体・関係機関との連携について理解できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、そのうえで自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「子どもの健康と安全」中山書店（編著）大西文子
 参考文献：「保育所保育指針」、「保育の場で役立つ 食物アレルギー対応ー職種間連携から考えるー」建帛社（編著）小野内初美・朴賢晶

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「子どもの健康と安全」は「保育の内容・方法に関する科目」で、「障害児保育」等から「こども表現（図画工作B）」に関連する科目である。
 資格との関連：保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
・予習・復習学習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・知識や技術の修得を目的にすることなく、自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。	・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①				筆記試験 ・保育における安全管理・危機管理についての説明ができる。 ・子どもの体調不良等に対する適切な対応や応急処置の方法が説明できる。 ・保育における感染症の集団発生の予防・対策について説明できる。 ・健康及び安全の管理の実施体制について説明ができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	20	①	✓			・保健的観点を踏まえた保育環境及び援助についての指導案を作成できる。 ・保育における保健的対応についての発表を見て学びをまとめることができる。
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓			・保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について実践できる。 ・子どもの体調不良に対する適切な対応について実践できる。
				②				
				③	✓			
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。 （発信力）聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。 （傾聴力）グループワークで人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、そのうえで自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。 （規律性）授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(S) ①保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について十分に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。 ②衛生管理・安全対策・危機管理・災害の備えについて十分に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。 ③体調不良に対する適切な対応や応急処置の方法について十分に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。 ④感染症の集団発生の予防について十分に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。 ⑤保育における保健的対応を知り、職員間の連携・協働、自治体・関係機関との連携について理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。 (A) ①保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について十分に理解でき、自分の言葉で説明できる。 ②衛生管理・安全対策・危機管理・災害の備えについて十分に理解でき、自分の言葉で説明できる。 ③体調不良に対する適切な対応や応急処置の方法について十分に理解でき、自分の言葉で説明できる。 ④感染症の集団発生の予防について十分に理解でき、自分の言葉で説明できる。 ⑤保育における保健的対応を知り、職員間の連携・協働、自治体・関係機関との連携について理解でき、自分の言葉で説明できる。	(B) ①保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について理解でき、自分の言葉でまとめることができる。 ②衛生管理・安全対策・危機管理・災害の備えについて理解でき、自分の言葉でまとめることができる。 ③体調不良に対する適切な対応や応急処置の方法について理解でき、自分の言葉でまとめることができる。 ④感染症の集団発生の予防について理解でき、自分の言葉でまとめることができる。 ⑤保育における保健的対応を知り、職員間の連携・協働、自治体・関係機関との連携について理解でき、テキスト等を見ながら説明できる。 (C) ①保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について理解でき、記述してまとめることができる。 ②衛生管理・安全対策・危機管理・災害の備えについて理解でき、記述してまとめることができる。 ③体調不良に対する適切な対応や応急処置の方法について理解でき、記述してまとめることができる。 ④感染症の集団発生の予防について理解でき、記述してまとめることができる。 ⑤保育における保健的対応を知り、職員間の連携・協働、自治体・関係機関との連携について理解でき、テキスト等を見ながら概ね説明できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	「オリエンテーション」 ・保育の安全と安心について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・保育の安全と安心についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 領域「健康」のねらいを読んで復習する。 (復習) 領域「健康」の要点についてノートにまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「子どもの健康と保育の環境」 ・保育の環境の視点について学ぶ。 ・子どもの健康管理と安全管理について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・保育の環境の視点についての基礎的視点が理解できる。 ・子どもの健康管理と安全管理についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第1章「子どもの健康と保健」、保育所保育指針第3章を読んで概要を理解する。 (復習) 子どもの健康管理と安全管理を踏まえた保育の環境についてノートにまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「子どもの健康支援」 ・健康状態の把握について学ぶ。 ・子どもの発達と測定方法・保健計画について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・健康状態の把握についての基礎的視点が理解できる。 ・子どもの発達と測定方法についての基礎的視点が理解できる。 ・保健計画についての基礎的視点が理解できる。 ・子どもの発達と測定方法についての基礎的視点が理解できる。 ・保健計画についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第2章「子どもの健康支援」を読んで概要を理解する。 (復習) 保健計画の留意点についてノートにまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「保育における保健的対応」 ・3歳未満児に対する対応と留意点について学ぶ。 ・3歳以上児に対する対応と留意点について学ぶ。 ・個別な配慮を要する子どものへの対応について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・3歳未満児に対する対応と留意点についての基礎的視点が理解できる。 ・3歳以上児に対する対応と留意点についての基礎的視点が理解できる。 ・個別な配慮を要する子どものへの対応についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第4章「保育における保健的対応」を読んで概要を理解する。 (復習) 3歳未満児、3歳以上児、個別な配慮を要する子どものへの対応と留意点についてノートにまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力
5	「事故防止及び安全管理」 ・子どもの事故について学ぶ。 ・保育の危機管理体制・ガイドライン、マニュアルについて学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・子どもの事故についての基礎的視点が理解できる。 ・保育の危機管理体制についての基礎的視点が理解できる。 ・ガイドライン、マニュアルについての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第5章「事故防止および完全対策」を読んで概要を理解する。 (復習) 保育の危機管理体制の要点についてノートにまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「子どもの病気とケガ」 ・子どものかかりやすい疾病、感染症、ケガの対応について学ぶ	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・子どものかかりやすい疾病、感染症と対応についての基礎的視点が理解できる。 ・ケガに対する応急手当の方法と手順についての基礎的視点が理解できる。 ・救急手当と危機管理についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第6章「子どもの体調不良等に対する適切な対応」読んで概要を理解する。 (復習) 子どものケガ等に関する応急手当の方法と手順の要点についてノートにまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「災害時の備え」 ・避難訓練について学ぶ ・災害対策と安全点検について学ぶ	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・避難訓練についての基礎的視点が理解できる。 ・災害対策と安全点検についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第7章「災害への備え」を読んで概要を理解する。 (復習) 避難訓練についての留意点についてノートにまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「安全管理の連携と協働的取り組み」 ・職員間の連携と協働について学ぶ ・地域や専門機関等との連携と協働について学ぶ	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・職員間の連携と協働についての基礎的視点が理解できる。 ・地域や専門機関との連携と協働についての基礎的視点が理解できる。 ・保護者対応についての基礎的視点が理解できる。	(予習) 教科書第8章「健康および安全管理の実施体制」を読んで概要を理解する。 (復習) 安全管理に関する保護者対応についてノートにまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	「育児教育実践①」 ・一般状態観察について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・子どもの体温・呼吸数・脈拍・血圧測定・酸素飽和度測定の実践と保護者への保健指導について理解できる。	(予習) テーマに関する資料収集。 (復習) 育児教育発表準備。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「育児教育実践②」 ・身体計測(身長・体重・胸囲・頭囲など)について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・身体計測(身長・体重・胸囲・頭囲など)の実践と保護者への保健指導について理解できる。	(予習) 育児教育発表準備。 (復習) グループ発表の課題をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「育児教育実践③」 ・栄養・排泄(調乳と哺乳方法、離乳食、排泄方法、排泄のしつけなど)について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・栄養・排泄(調乳と哺乳方法、離乳食、排泄方法、排泄のしつけなど)の実践と保護者への保健指導について理解できる。	(予習) 育児教育発表準備。 (復習) 他のグループ発表の要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「育児教育実践④」 ・清潔(沐浴、清拭、清潔習慣など)について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・清潔(沐浴、清拭、清潔習慣など)の実践と保護者への保健指導について理解できる。	(予習) 育児教育発表準備。 (復習) 他のグループ発表の要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「育児教育実践⑤」 ・応急手当(三角巾、包帯の使い方・心肺蘇生)について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・応急手当(三角巾、包帯の使い方・心肺蘇生)の実践と保護者への保健指導について理解できる。	(予習) 育児教育発表準備。 (復習) 他のグループ発表の要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「育児教育実践⑥」 ・症状別看護と与薬(子どもに多い疾病と看護、薬の与え方や注意点など)について学ぶ。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・症状別看護と与薬(子どもに多い疾病と看護、薬の与え方や注意点など)の実践と保護者への保健指導について理解できる。	(予習) 育児教育発表準備。 (復習) 他のグループ発表の要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ」 ・前週までのグループ発表及びclassroom提示資料を参考に課題に取り組む。	オンデマンド google classroomに提示される課題に取り組み、フィードバックを行う。	・課題に対して自分の意見を記述でき、期日までに提出できる。	(予習) 保健的配慮を踏まえた育児教育について指導計画を完成させる。 (復習) 保健的配慮を踏まえた育児教育について指導計画の評価・反省をする。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力